

第6回 ケアハウス事業者セミナー 「地域の中でケアハウスが変わる」

主催/NPO法人シニアライフ情報センター TEL/03-5350-8491 FAX/03-5350-8493

地域におけるケアハウスの役割に大きな期待が集まっています。ひとつには介護療養病床の廃止や介護施設の供給不足から要介護者の受け入れ先として住み続け可能なケアハウス。また一方で、地域の福祉拠点として利用者だけでなく地域住民に向けた役割も期待されています。こうした点を踏まえ、第6回を迎えるケアハウス事業者セミナーでは「地域の中でケアハウスが変わる」をテーマに、皆さんと一緒に考えたいと思います。

また、セミナー前日には懇親会と人数限定で見学会を実施します。見学先はいずれか1ヶ所です。定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご興味のある方はお早めにお申込みください。

2月24日(火)

会場 **国立オリンピック記念
青少年総合センター**

開演/10:40 終演/16:30

参加費 **15,000円(法人会員12,000円)**
資料・昼食代含む

定員 **80名(申込先:シニアライフ情報センター)**

プログラム

基調講演 10:40~11:50

「高齢者の住まいの現状と課題」

タムラップランニング & オペレーティング 代表取締役 田村 明孝 氏

今後ケアハウスと競合する高齢者の住まいとして、有料老人ホームや高齢者賃貸住宅があげられます。そうした高齢者の住まいの実態や課題、近年の動向を通して、福祉施設であるケアハウスの方向性をお話いただきます。

講演 12:45~14:00

—地域から発信する—

「市民の手による新しい住まい」

NPO法人ぐるーぷ藤 理事長 鷲尾 公子 氏

地域に住み続けるために必要なサービスや住まいを模索してたどりついた複合型福祉マンション。資金の調達や土地の確保など市民ならではの工夫と、開設から約1年がたち、そこから得られた同住宅の運営方法や課題についてお話いただきます。

パネルディスカッション 14:15~16:30

—実践事例から学ぶ—

「地域の中のケアハウス」

地域の福祉拠点として動き始めた各施設の試みをご報告いただきます。

軽費老人ホーム蔵王やすらぎの里(山形県山形市)
総施設長 柳生 法雄 氏

家族との関係の薄い入居者の晩年を施設はどこまで責任を持って支えるのか。成年後見制度が始まる以前から取り組みを始めた同施設の実例から、保佐人のあり方や施設の関わり方について。

2月23日(月)

施設見学会(先着45名)
懇親会(希望者)

18:00~ 参加費3,000円

ケアハウス

「ケアハウス 弘陽園」

14:00~16:00 予定

東京都三鷹市。軽費老人ホームの建替えに伴い、一般型と介護型の併設型ケアハウスとして平成20年4月に新たに開設。

福祉マンション

「ぐるーぷ藤一番館 藤が岡」

11:00~13:00 予定

神奈川県藤沢市。ひとつの建物の中に幼児・障害者・高齢者と様々な世代が交流する複合型福祉マンション。2008年毎日介護賞(毎日新聞主催)奨励賞受賞。
※本物件に限り別途見学費1900円(昼食代込)がかかります。

適合高齢者専用賃貸住宅

「イハナハウス」

14:00~16:00 予定

千葉県松戸市。グループで行うデイホームや訪問介護事業所と連携しながら日常生活を支える賃貸マンション。

見
学
先

ケアハウスすこやか(愛知県豊橋市)

所長 高部 ゆかり 氏

食堂や浴室など施設の設備を地元住民も利用できる仕組みをつくり、在宅高齢者のひきこもり改善や継続的な利用者獲得に効果をあげる。

ケアハウスあさがお(徳島県徳島市)

施設長 保岡 伸聡 氏

入居者の状況の変化にあわせ、デイサービスとグループホームを開設し、今年新たにコミュニティカフェをオープン。介護施設供給率日本一の徳島県において、激しい競争からの生き残りをかけた運営の工夫とは。